

謝辞

本研究は、大阪市立大学大学院工学研究科中山正昭教授のもと、主に同研究科応用物理学専攻光物性工学研究室にて行なわれたものである。研究を遂行するにあたり、多くの方に御指導と御協力とを頂きました。ここに慎んで感謝致します。

本研究を進めるにあたり、中山正昭教授からは、終始懇切な御指導と御助言を賜りました。同大学院工学研究科の溝口幸司助教授には、実験データに対する有益な議論を賜りました。また、同大学院工学研究科の西村仁名誉教授と金大貴助手からは、有益な助言を頂きました。同大学院工学研究科の細田誠教授と中山弘教授には、本論文をまとめるに際し、適切な御指導を頂きました。

本研究に着手した当初は、ATR 環境適応通信研究所(現: ATR 適応コミュニケーション研究所)にある設備を利用させて頂きました。同研究所の會田田人室長, 黒柳和良研究員(現: 浜松フォトニクス株式会社), 大谷直毅研究員(現: 独立行政法人通信総合研究所)からは、有益な助言だけではなく温かい励ましをも頂きました。

本論文第 4 章で取り上げた GaSb/AlSb 超格子におけるコヒーレント縦光学フォノンに対する研究を行う際には、大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻の設備を利用させて頂きました。同研究科応用物理学専攻に在籍しておられた播磨弘助教授(現: 京都工芸繊維大学教授)と中嶋誠氏から頂いた助言は、本研究を進める上で非常に有意義でした。

大阪市立大学工学研究科光物性工学研究室の院生および学部生の方からは数多くの御支援と御協力とを頂き、共に楽しく有意義な日々を過ごすことができました。

以上の方々に対して、ここであらためて心から深く御礼申し上げます。

最後に学生生活において、いつも励ましていただいた友人・家族に深く感謝の意を表します。